

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成26年 7月 15日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府宇治市槇島町24、16番地		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社 微生物化学研究所 代表取締役 直江 千代					
主たる業種	動物用医薬品製造業				細分類番号	1   6   5   5	
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則		<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号				
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	平成20～22年度の平均を基準にして、計画期間中に温室効果ガス排出量を10.8%削減する。						
計画を推進するための体制	常務取締役を委員長とした省エネ推進委員会において、平成20～22年度の平均を基準とする実行計画の進捗管理を実施する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量		基準年度 (20～22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	事業活動に伴う排出の量		3,863.9 トン	3,597.1 トン	3,836.9 トン	3,968.2 トン	-1.6 パーセント
	評価の対象となる排出の量		4,136.3 トン	3,597.1 トン	3,836.9 トン	3,968.2 トン	-8.1 パーセント
実績に対する自己評価		・第2研究所が本格稼働したため、前年度に比べ温室効果ガス排出量が3.4%増えた。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (労務費人数×3)	6.40	5.97	6.42	6.42	-2.03 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
実績に対する自己評価		・温室効果ガス排出量の増加のため、目標4.17%削減であったが結果2.03%となった。					
重点的に実施する取組の実施状況			基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考
			3.0 パーセント	10.0 パーセント	32.0 パーセント	35.0 パーセント	
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度		機器の適正管理に努める。				
	(24)年度		空調機を時間別温度設定運転を実施した。				
	(25)年度		屋外水銀灯4灯、屋内照明101灯をLED照明に交換した。				
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容		本社社員用駐車場及びバイク用駐輪場を有料化及び自転車用駐輪場を増設し、自転車、バス通勤を促進した。				
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価		自動車通勤者が6名自転車通勤者となった。				
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分		第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
	森林の保全及び整備によるもの		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	地域産木材の利用によるもの		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	グリーン電力証書等の購入によるもの		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
合 計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	特になし						
特記事項	特になし						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。  
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出量の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。